



謹賀新年



曾於市長
五位塚 剛

明けましておめでとうございます。市民の皆様には、健やかに新年を迎えることとお慶び申し上げます。日頃から市政発展のためご支援・ご協力を賜り心より感謝申し上げます。

昨年は、本市の新たなシンボルとして、「日本一大きな和牛のモニュメント」を道の駅すえよしに設置しました。連日多くのお客様で賑わっております。基幹産業である農畜産業の振興に、より一層取り組み、2022年に霧島市で開催される全国和牛能力共進会で鹿兒島県の連覇を目指します。

また、全国の皆様から応援を頂いております「曾於市思いやりふるさと寄附」も、一昨年度、昨年度に続き、10億円を突破いたしました。貴重な財源として活用させていただきます。引き続き、引き続き特産品の開発・販売・PRに力を

入れ、更なる商工農畜産業の活性化を図り、市全体の活性化に結びつけていきたいと思っております。

また、明るい話題として、昨年の冬季オリンピックで大活躍した北海道北見市の女子カーリングチームが試合中に使った「そだねー」が流行語大賞となりました。この「そだねー」をゆるやかに変化させた「そおだねー」が、北海道の地元新聞にも取り上げられ、今や本市の名は、日本全国に認知されつつあります。この好機を逃さず、農畜産業だけではない、連続と受け継がれる伝統・文化が息づく本市の魅力を全国へ発信してまいります。

本市の高齢化率が39%を超えました。高齢者の方々に元気で暮らしていただくことはもちろんですが、多くの若い方々に本市に住んでいただくことが地域の活性化に繋がります。そのためにも『小さな子どもからお年寄りまで元氣な声が届くこえるまちづくり』を進めてまいります。

結びに今年1年が市民の皆様にとりまして、良い年でありますよう祈念いたします。新年のあいさつといたします。



曾於市議会 議長
原田 賢一郎

市民の皆様明けましておめでとうございます。

皆様におかれましては、健やかな新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

平素より市議会に対し、温かいご支援とご協力をいただきまして厚くお礼申し上げます。

昨年を振り返ると、7月には西日本豪雨災害、9月には北海道大地震等、大きな災害が発生しました。被災された方々に心よりお見舞い申し上げ被災地の一日も早い復興を願っております。

本市においては台風21号・24号の影響を受けたものの大きな被害もなく平穩無事な年であったかと思っております。

今、議会におきましては、昨年からの議会改革の一貫としてペーパーレス化に向けタブレットを導入し、経費削減に努めております。また、本年4月からは、農業公社がオープンいたします。このことは農家の高齢化と後継者不足に対応した

事業であり、各農家の過剰投資の軽減にもつながるものと大いに期待しております。

平成最後の年、平成31年がスタートしました。地方においては景気回復の基調は見られず厳しい行財政運営が続きます。そのような中で、私も議会の果たす役割が一層重要性を増すと感じております。不偏不党、公正無私立場を貫き、二元代表制の意義を再認識し、執行部とは一定の距離を保ちつつ、是々非々の立場からチェック機能の強化はもちろん、市民の皆様の多様な意見を把握しながら、地方分権時代にふさわしい議会運営や、より開かれた議会の確立、議会の活性化に取り組んで参ります。

さて、今、人口が減少し少子高齢化社会の中、さまざまな課題に直面し、まちづくりそのものが大きく変化しております。こうした厳しい環境を乗り越え、心の豊かさや日々の暮らしに喜びを実感できるまちづくりを進めていくため、市民の皆様と協働しながら、活発な議論展開のもと新しい時代に対応できる議会を目指し、市民の皆様への負託に応えられるよう、努力していく所存でございます。

結びに、本年が市民の皆様にとりまして、幸多き素晴らしい一年となりますことと、曾於市の限らない発展をご祈念申し上げます。年頭のあいさつといたします。